

平成27年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立洛友中学校)

1 平成27年度 重点評価項目

1. 確かな学力の育成(コミュニケーション能力や言語能力の向上) 2. 豊かな心の育成(自尊感情や社会性の育成を目指した活動) 3. 健やかな体の育成(心身の健康を管理する力の向上)

2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
						評価日	平成27年8月19日	評価日	平成27年10月1日
						評価者・組織	運営委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校 評議員による改善 に向けた支援策
1	確かな学力	自分が考えたことや感じたことを表現する力の育成 昼・夜間部「交流の時間」の充実 書く力の育成	各教科で発問を工夫し発表の機会を増す。年3回の学校公開日と授業漢字、美術、人権など学習内容を系統立てて効果的に実施。 国語の授業などで、作文・日記・詩・俳句などの課題を設定。	話す・聞くなどの態度の変容。授業中に発表する機会が増えたか。 昼・夜間部生徒の交流の様子。漢字学習の質と量(蓄積したプリント) 課題の作文・日記・詩・俳句の内容の変容。	発表する機会が増加。主体的に発表しているという意見が増加。 漢字学習プリントがファイルに蓄積され、日常生活に生かされている。 作文や日記における文章表現が向上。語彙数も増加。	⇒	・発問の工夫により、主体的に発表する姿が増加。発表内容の質的な高まりを目指して、教材・発問をさらに工夫改善する。「交流の時間」が系統化されてきた。・作文や日記において、心情を表現する力は向上した。語彙数をさらに増やす指導を工夫する。	⇒	・発表しやすい雰囲気づくりがなされ、発表する人も聞く人も主体的に頑張っている。 ・時には生徒同士の話し合い活動ができるように、先生がファシリテーターの役割を果たしてはどうか。
2	豊かな心	挨拶の励行 人権の大切さを考える活動の実施 日本の伝統文化を知る体験活動の実施	登下校時に校門で挨拶を実施(特に夜間部の下校時は全教職員で実施) 人権標語入カレンダーの作成と地域への配布。 外部講師を活用した茶道、陶芸、和装などの取組。	挨拶時の会話・表情から、充実感を得ながら学校生活を送っているか。 人権の大切さを表現できているか。地域に役立っていると感じているか。 日本の伝統文化を理解する機会になったか。	豊かな表情で挨拶ができるようになり、充実した学校生活を送っている。 様々な教育活動を通して人権の大切さを考えており、この後制作に茶道、陶芸、和装などの活動を通して、日本文化の理解が進んだ。	⇒	・夜間部では充実感を率直に表現できるが、昼間部は会話や表情に表れにくい。内面に働きかける必要がある。・様々な教育活動の場面で人権の大切さを考えている。それを表現する活動に力を入れる。・日本の伝統文化を理解する機会になっている。	⇒	・日々、先生方が校門で働きかけていることが、生徒のみなさんに伝わっていると感じる。・昨年度の人権カレンダーがとても良かった。今年の作品も期待している。・地域の方々をはじめ外部講師への依頼が功を奏していると感じる。
3	健やかな体	健康観察の励行 健康相談の実施	毎日、養護教諭と担任が連携して、健康観察の実施。 校医や関係機関と連携した健康相談や保健指導の実施。	心身両面における変化の把握。 持病、食事、就寝などのアンケートを実施。家族からの相談にも対応。	心身両面に課題ある生徒が多いが、早期の発見・対応に繋がっている。 健康相談や保健指導が役立ち、健康管理の意識が高まっている。	⇒	・健康観察の励行により、早期の発見・対応ができていく。・昼夜間部共に心身に課題のある生徒が多いので、今後も健康管理の大切さを指導していく。	⇒	・高齢者の方も学校へ来るのを楽しみにされている。 ・学校への来ることが健康維持に繋がっているようだ。
4	独自の取組	日本語教室の充実 情報発信の充実	課内・課外で日本語教室を実施。 ホームページを積極的に更新。	課外・課内の日本語教室に参加する生徒が主体的に取り組んでいるか。 学校ホームページへのアクセス数。	社会生活に必要な日本語を、課外で主体的に学ぶ生徒が増えた。 PTA組織が無く、知名度も低い。・少しずつアクセス数が増えてきた。	⇒	・課外の日本語教室で主体的に学ぶ姿が見られ、コミュニケーション能力も向上してきた。さらに、授業中に発表できるように取り組む必要がある。・積極的にHPで情報発信しているが、アクセス数は微増。知名度アップのために今後も積極的な発信が必要。	⇒	・日本語を学ぶことで、コミュニケーション能力が高まり、他の教科もよりよく学んでいるようだ。人前で発表することは、自尊感情が高まる。・学校だよりの配布を有り難く思っているが、それよりHPを見る方がリアルタイムだと思った。